

スタートアップエコシステム協会の取り組みについて

Nov 22, 2024

スタートアップエコシステム協会について

スタートアップ・支援機関・ベンチャーキャピタル・
大手企業・教育機関、そして行政と国が連携して、ス
タートアップエコシステムの活性化を推進する。

- 1 情報集約と発信を通じ、支援者の連携を促進し、適切な支援を提供する環境を整える
- 2 民間主導で行政機関に情報提供や政策提言を行い、スタートアップの創出や成長を促進する環境を中長期的に構築する
- 3 海外スタートアップや関連機関向けに日本の窓口となり、情報発信を中心として国内エコシステムのグローバル化を促進する

2023年度の活動に関して

調査

- Feb 2024 「スタートアップ界隈におけるジェンダーの多様性」に関するアンケート
- Mar 2024 スタートアップ現状調査



政策提言

- Apr 2023 & Feb 2024 自民党スタートアップ議連での提言発表
- 2024年からは全ての議連にオブザーバーで参加



連携企画

- May 2023 スタートアップの経営者や支援者のためのストックオプション税制説明会
- Jan 2-24 経産省・金融庁・法務省によるスタートアップ関連政策説明会



委員

- 規制改革推進会議 スタートアップ・投資ワーキンググループ専門委員
- 経済産業省スタートアップコミュニティ 環境整備・規制改革
- 東京都 スタートアップフェロー
- 文部科学省 起業家教育推進大使
- その他：金融庁VCプリンシパル有識者会議、東京都スタートアップDB など



Startup Ecosystem Summit

Startup Ecosystem Summit 2023

- 2023年11月27日にTokyo Innovation Baseのキックオフ第二部として、2年目のSummitを開催。
- 今回は誰でも参加できるオープンなイベントとして実施。
- **47**のスタートアップ支援企業・団体・政府機関・自治体などが登壇
- SmartRound社と連携してVC壁打ち企画を実施。**34**社のVCが参加。



Startup Career Showcase



- 2024年3月30日に昨年のCareer Fairを、5社のパートナーと一緒に作るCareer Showcaseへ刷新。
- 400人以上が参加
- SEAJが創るスタイルから、エコシステムプレイヤーが創るスタイルにすることで、TiBのコンセプトにも合致させつつ、今後の展開への道筋を策定。



Startup Intern Fes



- 2024年9月28日、2回目となるインターンフェスを開催。39社のスタートアップがインターン募集のためだけの採用ブースを出展、約200人の学生が参加。
- 上場しているスタートアップ、ユニコーン企業、設立したばかりのスタートアップなど多種多様なスタートアップが参加
- トークセッションでは20代を中心に登壇者を選定。



Startup Culture Lab

Startup
Culture

LAB.

<https://startupculture-lab.com>

スタートアップの成長に必要なイノベーションを推進する人材・組織開発にフォーカスした、学びと知見を広くシェアする研究プロジェクト。

これから成長を目指すスタートアップが、成長するにあたり直面する組織運営や人事に関する課題やトピックについて、各回でテーマを定め、参加者の学びを深めていく場として毎月研究プログラムを開催しています。



宣伝：Startup Ecosystem Summit 2024、開催決定！



<https://se-summit.jp/2024/>

開催日時	2023年11月29日(金) 13:00~18:30
会場	Tokyo Innovation Base 東京都千代田区丸の内3-8-3 SusHi Tech Square 2階 有楽町駅前に立地（東京駅から徒歩5分） ※現地開催のみ
主催	東京都 （一社）スタートアップエコシステム協会 事務局：スタートアップエコシステム協会
参加費用	無料
参加対象	スタートアップ、エコシステムを構成する各社、政府関係者、メディア
実施内容	パネルセッション/ライトニングトーク/ブース展示

“Startup Ecosystem”とは

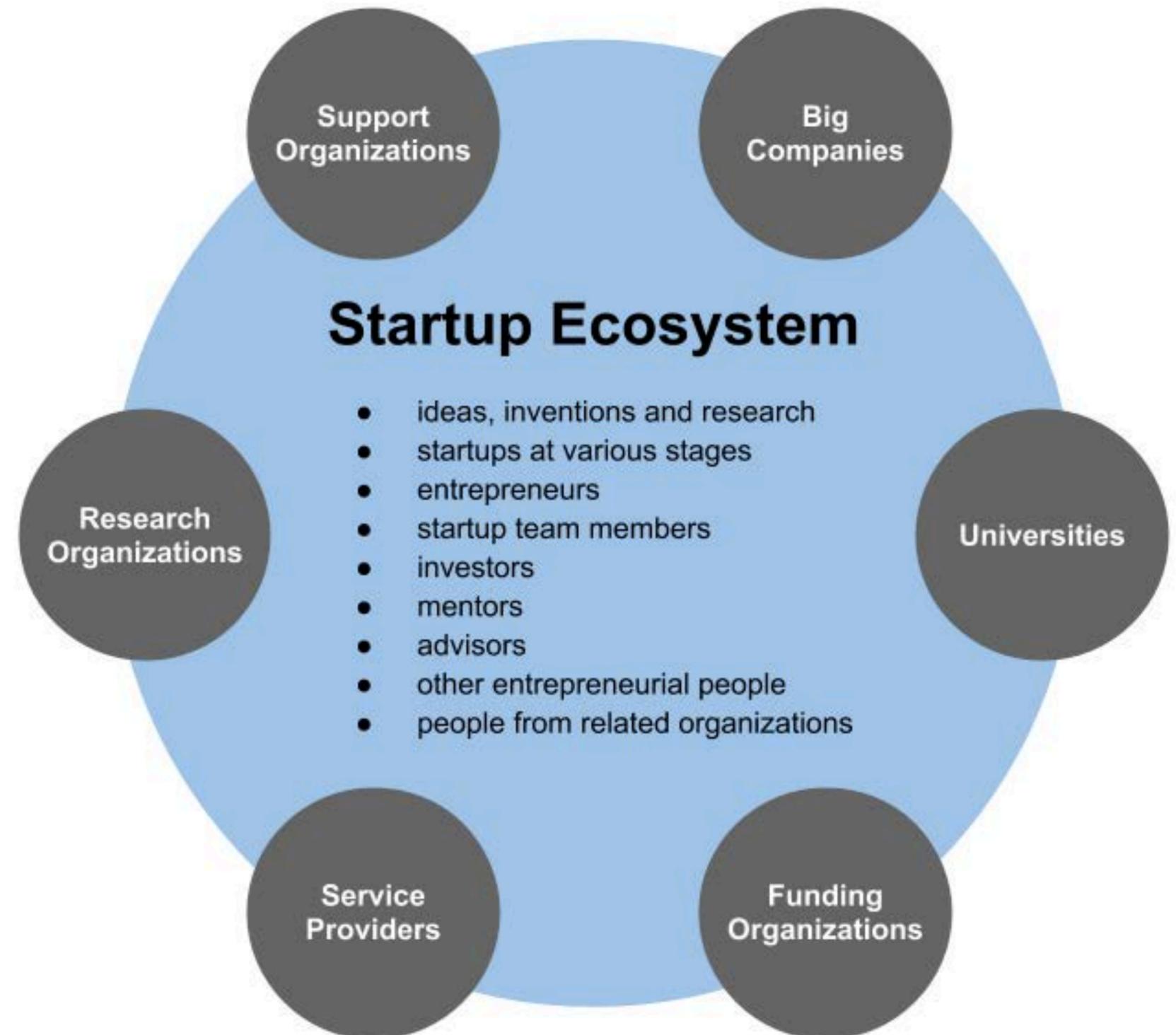
<https://www.startupcommons.org/what-is-startup-ecosystem.html>

A startup ecosystem is formed by people, startups in their various stages and various types of organizations in a location (physical and/or virtual), interacting as a system to create new startup companies.

ある場所（物理的・仮想的）にいる

- 人々
- 様々なステージのスタートアップ企業
- 様々な種類の組織

が、新しいスタートアップ企業を生み出すシステムとして**相互作用すること**によって形成されるものである。

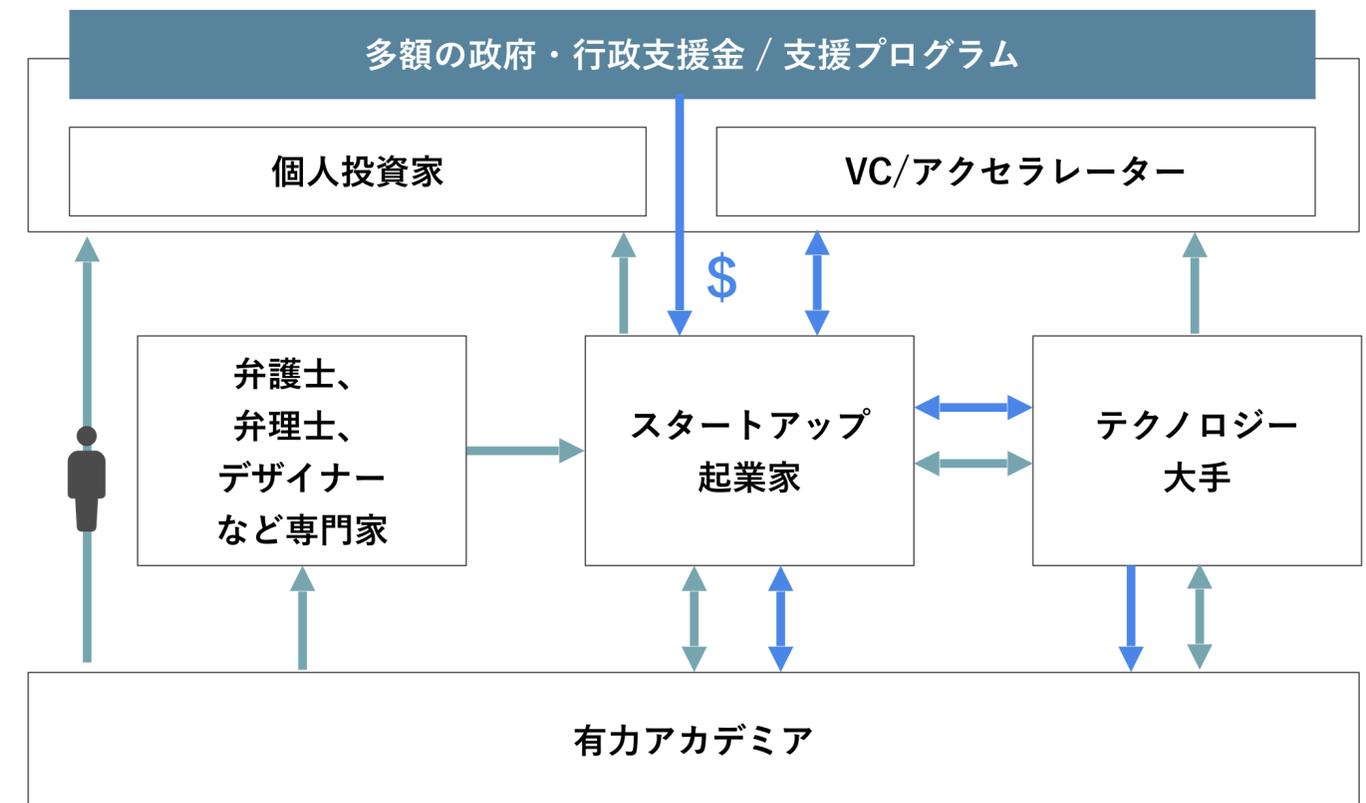
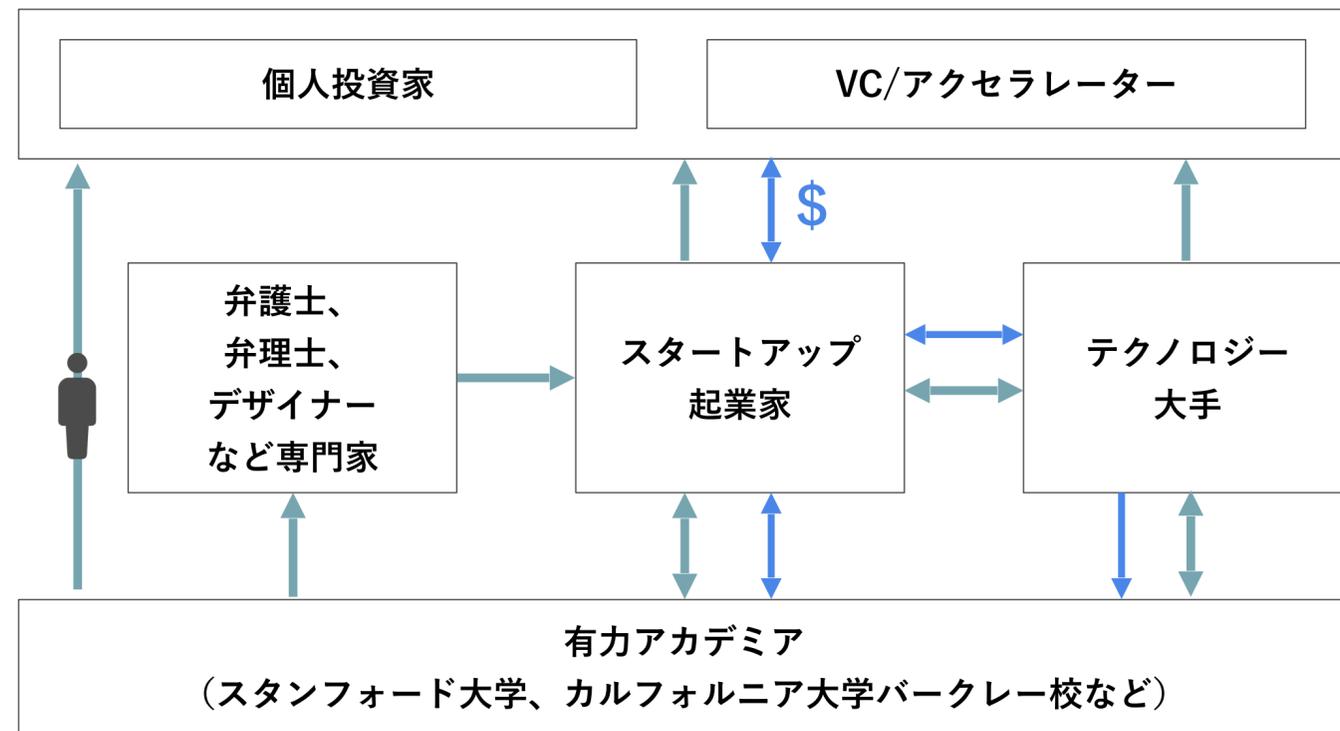


シリコンバレー型から次の型の”エコシステム”へ

日経ビジネス「シリコンバレー2.0「広域・分散」という進化」より再編成
<https://business.nikkei.com/atcl/NBD/19/special/00878/>

シリコンバレー

パリ、ロンドン、シンガポールなど



- シリアルアントレプレナーがメンターとなり、継続的にスタートアップが生まれる
- アカデミアと企業の垣根が極めて低く、エコシステムを人材面から支えている
- エコシステムを最大限活用するために、世界から起業家が次々と集まり、多様性と流動性を持つ

- 国内に市場があり投資魅力が高い
- 世界有数の大学・研究機関、グローバル企業の本部の拠点が集積
- 政府の支援施策の充実
- スタートアップに対して多額の政府資金が投下されており、政府による多様な支援施策が、スタートアップの起業環境を整え、エコシステムとしての地位やブランド構築にも貢献

スタートアップエコシステム現状調査（2024年5月実施）

スタートアップエコシステム現状調査 2024/Startup Ecosystem Status Survey 2024

English follows

一般社団法人スタートアップエコシステム協会（以下「当協会」という。）が2022年に行ったスタートアップ向けのアンケートに続き、スタートアップエコシステムの現状を把握するための調査を実施しています。

<https://startupecosystem.org/>

目的：日本のスタートアップエコシステムの状況を把握するとともに、政府・自治体のスタートアップ支援施策が提供した価値について調査を行い、今後のスタートアップエコシステムの発展に活かすこと。

対象者：スタートアップ関係者、スタートアップと関わりのある大企業関係者、スタートアップ支援機関（いずれのカテゴリにおいて、各組織の代表者でなくても記入可能です。ただし、スタートアップは1社あたり1回答をお願いします。他のカテゴリについては、1社あたり複数人がご回答いただけます。）

調査期間：2024年4月8日から5月31日まで

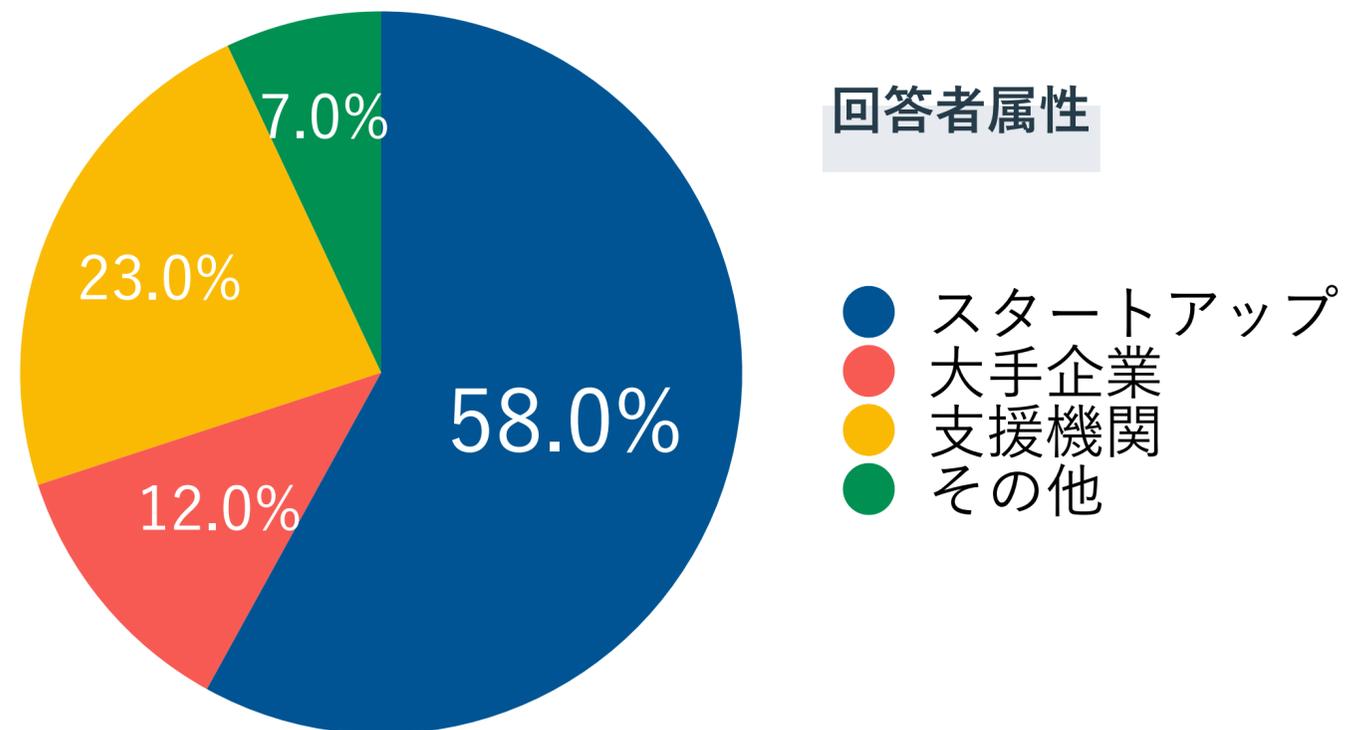
公表方法：概要については当協会のwebにおいて公開します。詳細版については、政策関係者及びアンケートに御回答いただいた方のみ共有いたします。なお、ご記入いただいた内容について、プライバシー等に配慮し、当協会でご記入いただいた内容を加工することをご了承ください。その際、誰がどのような内容を記入したのかは当協会以外には知られないように加工します。また、回答後に表示されるフォームにご記入いただくと、本調査にご協力いただいた企業として、報告資料に貴社名を掲載いたします。

※本アンケートに御回答いただいた皆様には本調査の結果の詳細版をお知らせするとともに、発表の場への招待を優先的にお送りさせていただきます。また、御回答いただいたスタートアップの方について、政策関係者との意見交換の場にお呼びさせていただく可能性があります。可能な範囲でご対応いただけると幸いです。

期間：2024年4月8日から5月31日まで

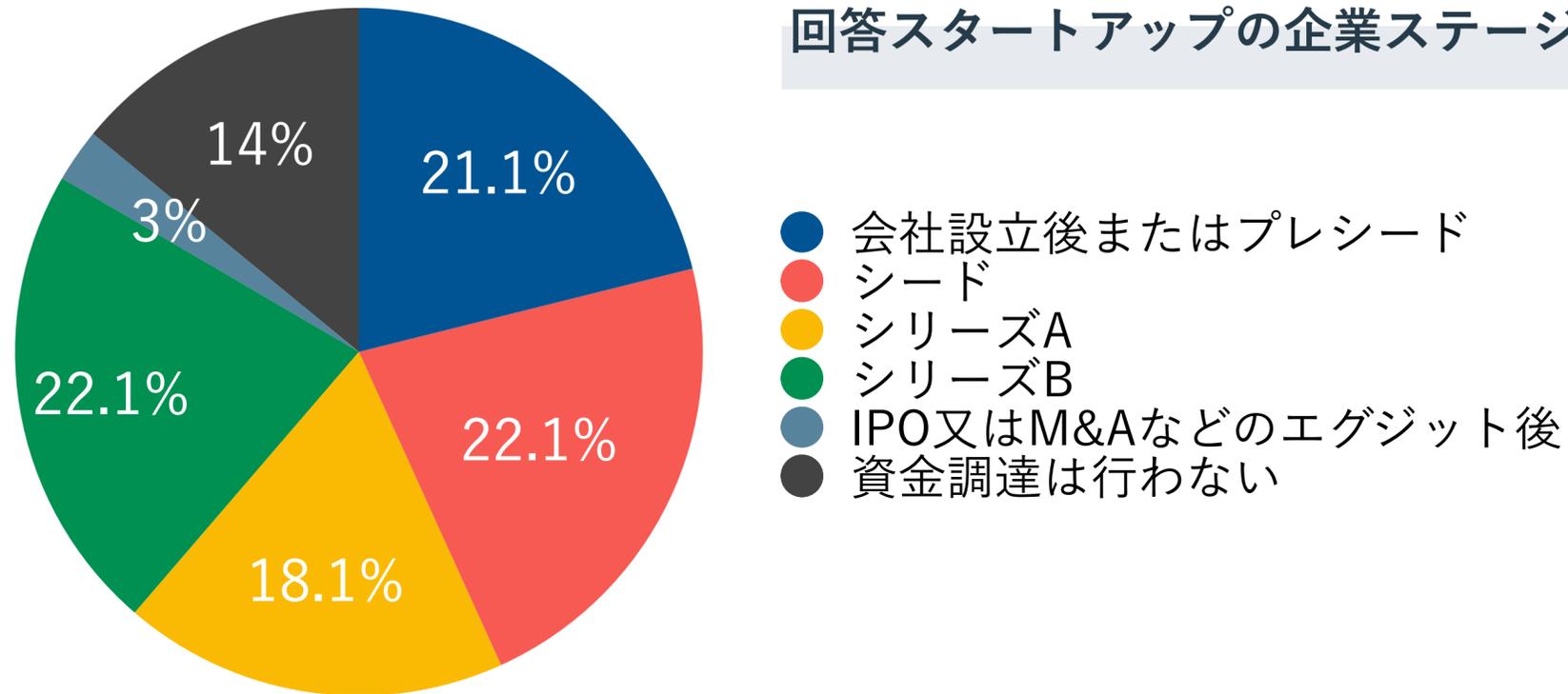
対象：スタートアップ、スタートアップと関連のある企業・組織・団体

項目：ステージ / 所在地 / カテゴリ・業界 / スタートアップにとっての課題 /



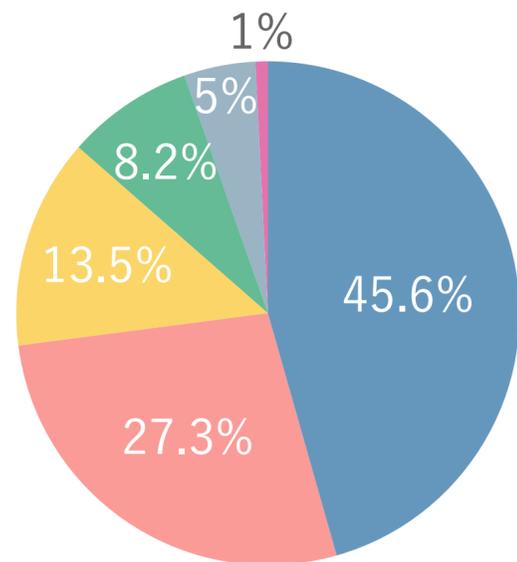
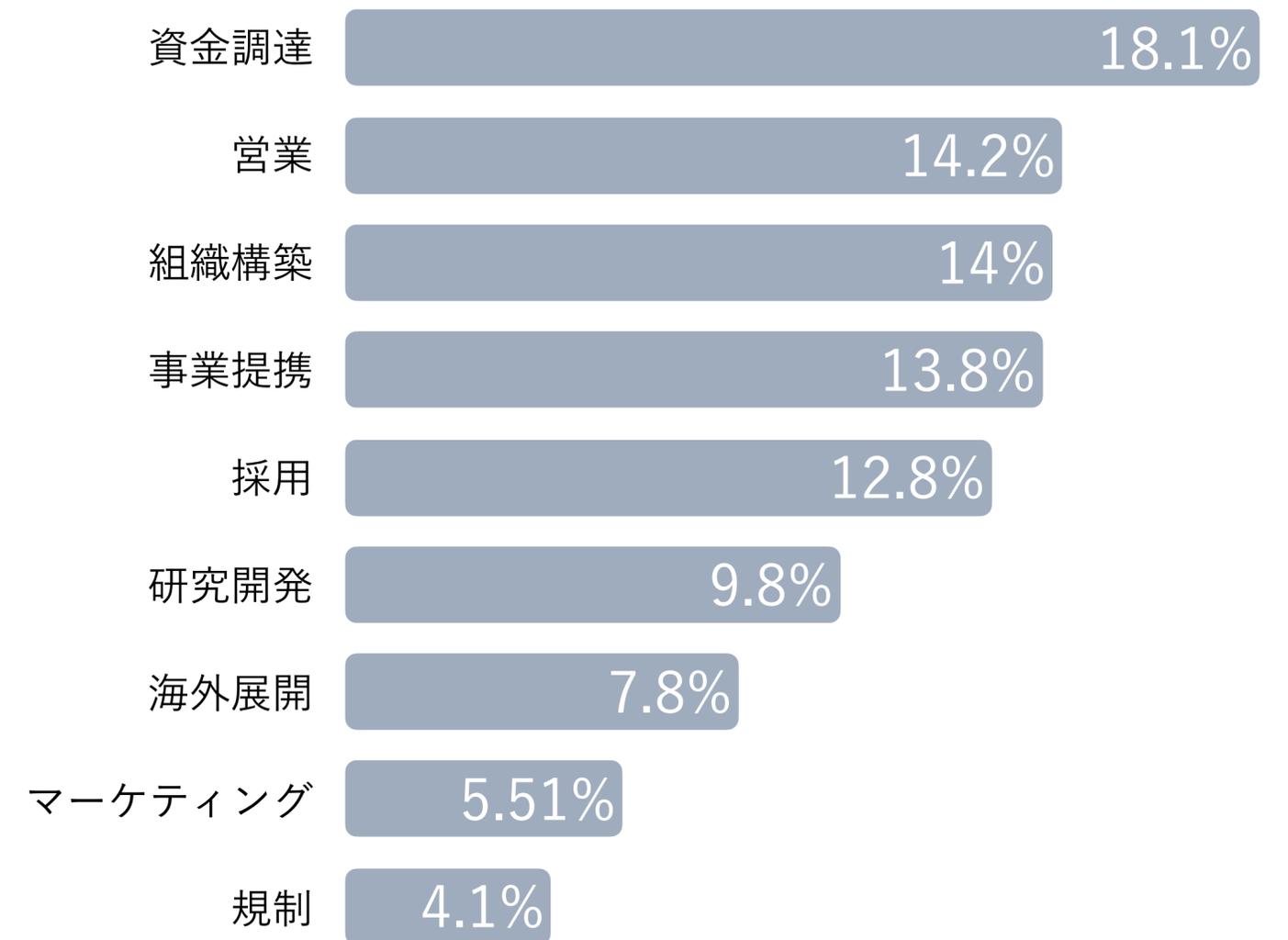
スタートアップエコシステム現状調査（2024年5月実施）

回答スタートアップの企業ステージ



- 会社設立後またはプレシード
- シード
- シリーズA
- シリーズB
- IPO又はM&Aなどのエグジット後
- 資金調達を行わない

スタートアップ各社が直面している課題



参考：日本のスタートアップのステージごとの分布図

Source: INITIAL Japan Startup Finance 2024 より編集

政府や自治体のスタートアップ支援事業のうち、自社の成長に1番貢献したものの

調査のうちスタートアップ199社の回答

金融機関を通じた融資 44

政府や自治体の支援は活用していない 43

研究開発支援事業 39

公的なアクセラレーション・成長支援プログラム（海外展開支援は除く） 17

海外展開支援事業 14

支援を利用したことがあるが、成長に有意に貢献するものはなかった 13

イベント・表彰・認定制度 13

政府や自治体のスタートアップ支援事業のうち、自社の成長に2番目に貢献したものの

調査のうちスタートアップ199社の回答

政府や自治体の支援は活用していない	92
支援を利用したことがあるが、成長に有意に貢献するものはなかった。	17
公的なアクセラレーション・成長支援プログラム（海外展開支援は除く）	17
金融機関を通じた融資	16
海外展開支援事業	16
研究開発支援事業	15
イベント・表彰・認定制度	10

上記の1番貢献したものについて、活用した具体的な事業名と活用した上での感想をご記入ください。（抜粋）

- 公庫の資本金ローン6000万円。シード期に10年劣後は非常に大きなインパクト。
- 政策金融公庫から、創業者の無担保無保証での1500万円の創業者融資をしていただきました。シード期における1500万円の融資は大きなサポートにつながりました。また、融資を実行するための資料作成やハードルも適切で、その後の事業拡大のために必要なことを準備するための契機になったと考えています。
- J-Startup。認定いただいたことが海外展開へ舵を切るきっかけになり、実際に応募した海外プログラム複数へ採択いただいた。
- 経済産業省「出向起業等創出支援事業」採択
- 細かな領収書の提出など必要なのはわかるが、もらえる金額の割に手間が多く、金銭的なメリットは薄かった。一方で経済産業省の採択事業ということで、一定の箔をつける効果はあったと思う。
- NEDOのNEP・STS・SBIR事業。ハードウェアの開発に伴い大きい金額が必要となるため、申請準備の大変さはあるものの補助をいただける・応援していただけることが大変ありがたい。
- スタートアップ向け新株予約権付融資。民間金融機関よりも金利が圧倒的に低く、期間もかなり長い。
- NEDO PCA。大型の支援でサービスの基礎となる部分をすばやく確立できたのでよかったが、一方で使用後の後払いのため資金繰りに苦労した（代表の個人保証付きで2.5億の借り入れでまかなったのでリスクが非常に高かった）。
- IPASS。メインは知財の事前調査を期待したものの、予算不足で効果は限定的でした。サブの知財戦略の妥当性を確認に関しては、満足しています。対外的な信頼は増したと感じております。

実現・改善することで多くのスタートアップの成長に寄与すると考えられるもの

調査のうちスタートアップ199社の回答

